

台風

予報が出たら!



備えて安心! タイムスケジュール

家 Ver.

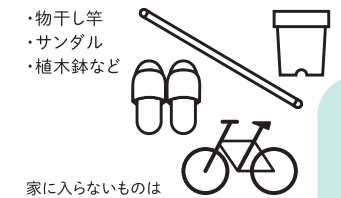
48

暴風対策をしよう

時間前!

雨が降り出す前の明るい時間帯に、被害を最小限にするために、加害者にならないためにも、暴風対策を徹底しよう!

- 飛ばされやすいものは室内へ移動



- 倒してチェーン
- ワイヤーで固定
- 防風ネット使用

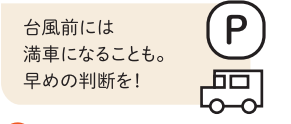
! ガラス飛散を防ごう

窓を守ることは家全体を守ることにつながります。地震対策にもなるので、窓ガラスには飛散防止フィルムを貼っておきます。台風が近づくと、必要なものが売り切れることもあるので、普段から備えておきましょう。

地震など他の災害への備えにもつながるので、台風のタイミングで、備蓄品の補充など、積極的に備えましょう。

浸水対策

- ガソリンを満タンにする
- 車を安全な場所へ移動



- ! 確認しよう
- 学校は休校になる?
- 職場は出勤?
- 電車などの計画運休は?

24

停電や断水対策をしよう

時間前!

不要不急の外出は避けましょう。台風の速度や進路は変わるので、予定を変更しても、安全な場所で過ごすことが大切です。

- 野菜は洗って切っておく
- そのまま食べられるものを用意



- 水をためる



- フル充電

- ! 万が一に備えて
- 垂直避難して就寝

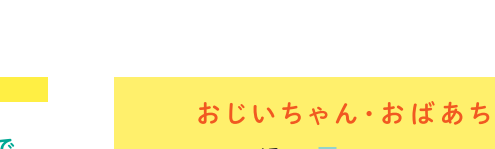
熱中症への対策

台風接近中は窓を開けられないので、熱中症対策を万全に。扱いやすい500mlのペットボトルを凍らせて保冷剤がわりにすれば水分補給もできて一石二鳥。



! 災害時のトイレ問題

非常用トイレはありますか? 断水だけでなく、水害が発生するとトイレが逆流するなど、使えなくなる恐れがあります。十分な備えをし、いざという時あわてないために、使い方を確かめておくことも大切です。



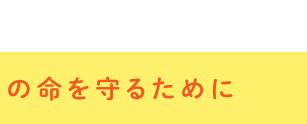
浸水対策

- 大切なものを上層階へ
- ・貴重品 ・思い出の品
- ・移動できる家電製品

- 備蓄品も上層階へ
- ・カセットコンロ ・ボンベ
- ・食料 ・調理器具など

- 水のうで下水の逆流を防ぐ

二重にしたビニール袋に水を入れ、トイレの中や排水口に置くと逆流を抑える効果があります。



通過中!

とにかく外に出ない! 万が一に備え、非常持ち出し袋やレインウェアなど、避難に必要なものは取り出しやすい場所に置いておきます。

- いつでも避難できる服装で
- 心が落ち着くものを用意
- 早めに食事をとる



おじいちゃん・おばあちゃんの命を守るために

防災アドバイス

家族へ 暮らす 離れて

離れて暮らす家族がいる場合は、電話などで早めの避難をうながして。日頃からご近所の方と話し、避難の声かけや安否確認をお願いできる関係を築いておきましょう。

できるワクワク、ずっと

ミニツク

“もしも”のときの避難行動や知識が学べる「家族で学ぶ防災プログラム」

敬遠しがちな「防災」をまじめに楽しく学ぶプログラム。知っておきたい災害の現実、いざというときもあわてない正しい知識を身につけて、私と家族の命を守ります。



ともにしあわせになるしあわせ



7-1 SHINKOU-CHO CHUO-KU KOBE 650-0041 JAPAN TEL.0570-024-213



a49561249990280a

環境に配慮した印刷物です。環境負荷を低減し、リサイクルに適した紙・印刷工程を採用しています。

台風編
大雨
保存版

みんなのBOSAIプロジェクト



もしもしもの備え

あなたは、今、どこで、誰と暮らしていますか? いつ、どこで起こるか分からない「もし、もしも」のなかで台風だけはあらかじめ予測ができる災害です。暮らしている地域でどんな被害が起こりうるか、いつ、何をを用意し、どんな行動をとるべきか、一緒に考えていきましょう。



みんなのBOSAIプロジェクト もしもしも

いつ、どこで、誰の身に起きるか分からない自然災害に対し「もしものわたしの3日間を守る」「みんなでみんなを守る」2つの想いを合言葉に未来に向けて考えるプロジェクトです。

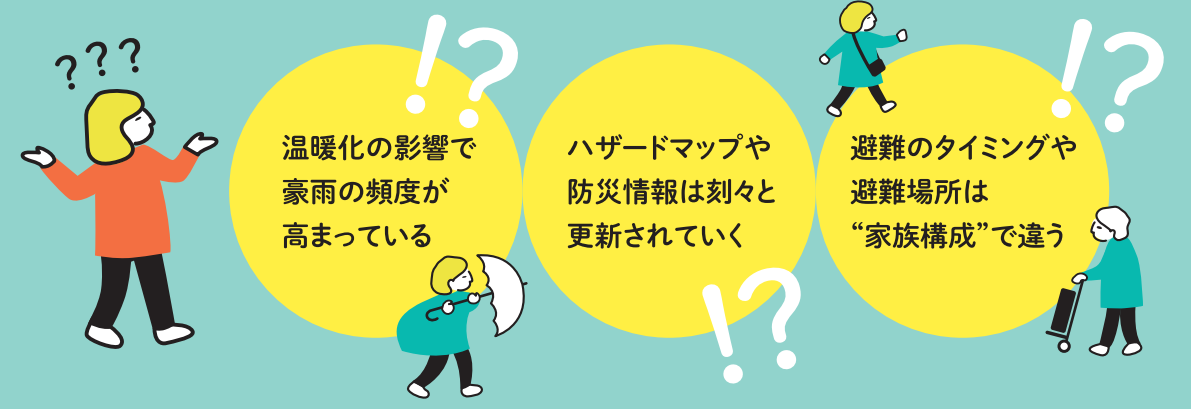


防災アナウンサー/環境省アンバサダー 奥村 奈津美 さん

NHKなど様々なメディアに防災の専門家として出演。著書「子どもの命を守る! 防災常識〜パパ、ママができる! 水害地震への備え〜」

今回のゲスト
コンシェルジュは

あなたの防災知識、アップデートしていますか?



情報の受け取り方は進化しています!

- キキクル(気象庁HP)
- 自治体の防災情報メール、SNS
- NHK、企業が発信する防災情報やアプリ

ハザードマップの検索方法を知っていますか?

防災アナウンサー奥村さんによる

解説動画を見ながら、しっかりチェック



もしもの備えも、“更新”が必要! 詳しく見ていきましょう!

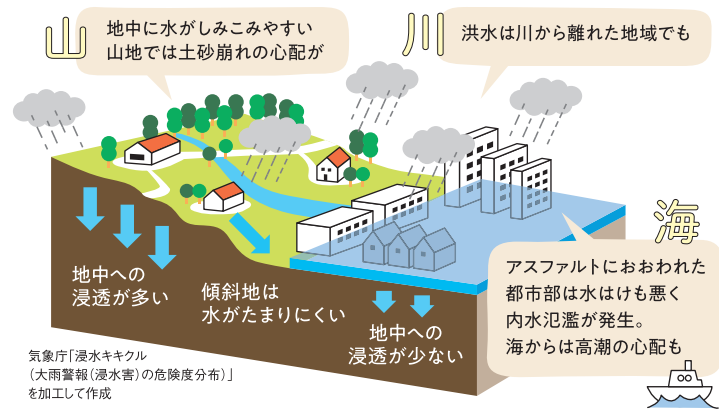


あなたのおうちも危険かも。あなたは

外に避難?おうち避難?

避難とは難を避けること。どこに逃げれば、自分や家族を守ることができるでしょうか。避難をためらって行動が遅れると、とり返しつかないことも。安全が確認できるまで命を守る行動を続けましょう。

◎住んでいる場所によって、必要な情報は違う!



◎ハザードマップで自宅のある場所をチェック



<https://disaportal.gsi.go.jp> (重ねるハザードマップ)

ハザードマップの被害想定はあくまで目安です。想定がされていない地域、想定以上の被害のある災害が起きることもあります。

◎避難は「自宅/自宅以外」で考える

避難所だけが避難先ではありません。ハザードマップで自宅のリスクを確認したら、避難先を考えましょう。避難所だけでなく、安全な場所にある友人宅やホテルなども選択肢の一つです。また、自宅が安全な場所にある場合は、自宅にとどまる「おうち避難」も立派な避難です。

自宅が危険だった場合
「友人の家もアリなんだ!」
友人・知人・親戚宅/ホテルや民間施設/職場/など

◎警戒レベルは「色」に注目しよう

あなたの避難のタイミングは? 災害発生危険度と、とるべき避難行動を5段階の数字で表したのが「警戒レベル」です。避難情報は、お住まいの市町村が発令します。地域のリスクや家族構成を踏まえて、どの警戒レベルになったら避難するのか考えておきましょう。

警戒レベル	5	緊急安全確保	命の危険/直ちに安全確保!
	4	避難指示	危険な場所から全員避難
	3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
	2	洪水・大雨注意報	避難行動を確認
	1	早期注意情報	災害への心構えを高める

警戒レベル 5 での避難は、手遅れ……!

誰と避難するかを考えると
「やっぱり早めに動こうね!」
高齢者/小さな子ども/障がいのある方/妊婦さん/など



あなたはどんな所に住んでいますか? 自宅のある場所について確認しましょう!

川

住んでいる街に川が流れている

起こりうる災害:洪水

ハザードマップの色は?

あり なし

外 おうち以外の避難を考える

1 想定される浸水の深さは?
0.5m未満 0.5m~3m未満 3~5m未満 5m以上

2 避難先を考えよう 避難所・知人宅などハザードマップに色が付いていないエリア

3 避難のタイミング
避難に時間がかかる(高齢者や小さな子どもがいるなど) → **3** この色で避難開始!
避難に時間がかからない → **4**

キキルの洪水害ボタン で最寄りの川の状況を確認

河川の様子を絶対に見に行かないこと!
紫:川が氾濫する恐れ

災害切迫 危険 警戒 注意 今後の情報等に留意

山

山・がけ・沢や傾斜地が近い

起こりうる災害:土砂災害

ハザードマップの色は?

あり なし

外 おうち以外の避難を考える

1 自宅の場所は当てはまりますか?
土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域

2 避難先を考えよう 避難所・知人宅などハザードマップに色が付いていないエリア

3 避難のタイミング
すみやかに安全な場所へ移動 **3** この色で避難開始!
警戒レベル 4 を待たない

キキルの土砂災害ボタン で危険度を確認

土砂災害は雨がやんだ後など、いつ発生するかわからない!
赤:必ず避難しよう

災害切迫 危険 警戒 注意 今後の情報等に留意

海

海が近い 河口が近い

起こりうる災害:高潮

ハザードマップの色は?

あり なし

外 おうち以外の避難を考える

1 想定される浸水の深さは?
0.5m未満 0.5m~3m未満 3~5m未満 5m以上

2 避難先を考えよう 避難所・知人宅などハザードマップに色が付いていないエリア

3 避難のタイミング
暴風が吹き始める前に避難を完了しておくこと **3** この色で避難開始!
警戒レベル 4

台風や低気圧などにより海面水位が上昇する高潮に注意

海水が岸壁を越え、道路の冠水や浸水などが発生!
満潮時刻、想定潮位も確認する

高潮は地形特性によって局地的に高くなる場合も。
※より詳しい情報は各自治体のハザードマップで!

◎乳児や高齢者と一緒に避難する場合は、安全な時間に早めに移動しましょう◎

準備について 持ち出し品の必需品や

- 身に付けるもの メガネ・入れ歯・薬・オムツ・生理用品など
- 避難に必要なもの ヘッドライト・レインウェア・着替え・タオルなど
- トイレ・衛生用品 携帯トイレ・トイレ用ペーパー・ウェットティッシュなど
- 食料 水、そのまま食べられるもの
- 感染症対策グッズ 消毒液・マスクなど
- 情報収集アイテム スマホの予備バッテリー・ラジオ・イヤホン

おうち避難の備蓄品

- ・非常用トイレ(1週間分以上)
- ・水(1週間分以上 ひとり1日3ℓ×家族の人数分)
- ・カセットコンロ・ボンベ(1週間分)
- ・常温保存できる食料のストック
- ・照明(ヘッドライト・ランタン)
- ・電気の代替アイテム(予備バッテリー・ポータブル電源)
- ・日用品(トイレ用ペーパー・ウェットティッシュ・生理用品など)

※高齢者や乳児などは「2週間分」が推奨されています。

基本的に防災グッズや備蓄品は自宅に。避難先によって何を持って行くかを選択しましょう。持ち出し品の準備は警戒レベル2からスタート!

備蓄のお水や食料品を
「避難させてもらう友人の家に持って行こう!」

みんなのBOSAIプロジェクト
もしもしも きほんのきせつ

「もしも」のことが起こったとき、まず重要なのは、ライフラインが復旧し、物資が到着するまでの「3日間」を乗り切ること。できるだけ少なく軽量化した基本の備えを毎月1セット×10回に渡ってお届けします。

注 ハザードマップの色があっても、一定の条件に当てはまる場合、おうち避難を考えることもできます。反対にハザードマップの色がなくても危険な場所もあります。各自治体の情報をしっかりとることが必要です。